

市民がつくる  
市民が学ぶ  
市民が拓く  
生涯学習情報誌

# Stage

月刊ステージ・アップ

---

# up

'97  
**10** 月号【1日発行】

● 投稿コーナー あなたの「お推め本」は？  
● しんゆり映画祭 アジア映画や今村昌平監督らの座談会



いまを話す

川崎市ホームヘルパー介護福祉士会会長  
金山 郁子 さん  
高齢者の「女には地獄」なら  
在宅介護 次の担い手はだれ？

Stage Up 10 月号もくじ/1997年

◆ほんねインタビュー いまを話す 3  
 川崎市ホームヘルパー  
 介護福祉士会会長、金山郁子さん  
 高齢者の在宅介護は「女には地獄」  
 なら次の担い手はだれ？  
 ■はりきってます グループ紹介 8  
 日本語の美しさを群読に託す  
 話力研究会(高津区)  
 伝承行事の聞き取りをする  
 多摩文化財愛護ボランティア(多摩区)  
 ◆お勧め本 10  
 ●学習・文化情報  
 ◇さらに使いこなすパソコン講座 11  
 □ミニニュース 15  
 □編集後記 裏表紙  
 ◇表紙絵……秋の川崎マリンエン 杉本 繁さん  
 (小誌は再生紙を使用しています)

10月8~12日 しんゆり映画祭 問い合わせは ☎(959)5042の事務局

●8日水19時から、オープニングイベント/山崎まさよしトーク&ショートライブ (全席指定1500円)  
 ■会場 8日は麻生文化センター▼9日からはワナー・マイカル・シネマズ新百合ヶ丘 (小田急線新百合ヶ丘駅前の新百合ヶ丘ビブレ内) ■表 日(曜日)・開始時間・題名(製作国か監督名)の順

9日 (木)	14:00 淀川長治講演会 15:10 渚のシンドバッド (橋口亮輔)	18:00 おかえり (篠崎誠) 19:50 座談会・橋口亮輔 & 篠崎誠
10日 祝	〈映画技術講座〉 13:00 ガメラ2 レギオン襲来 14:50 映画技術講座 16:00 ガメラ大怪獣空中決戦	11:00 ニヤム (ベトナム映画) 13:10 われらの歪んだ英雄 (韓国映画) 16:00 熱帯魚 (台湾映画) 18:00 太陽の少年 (中国映画)
	12:00 ヒポクラテスたち (大森一樹) 14:15 ガキ帝国 (井筒和幸)	14:00 夏時間の大人たち (中島哲也) 15:30 ひみつの花園 (矢口史靖)
11日 (土)	17:00 ションベン・ライダー (相米慎二) 19:15 座談会「私の新人監督時代」	18:00 弾丸ランナー (サブ) 19:40 雷魚 (瀬々敬久)
12日 (日)	12:00 大阪極道戦争しのいだれ (細野辰興) 13:50 豚と軍艦 (今村昌平)	13:00 鉄塔武蔵野線 (長尾直樹) 15:15 月とキャベツ (篠原哲雄)
	17:00 座談会「今村昌平と考える日本映画の未来」 18:10 うなぎ (今村昌平)	18:00 勝手にしやがれ英雄計画 (黒沢清) 19:40 2 / デュオ (諏訪敦彦)

★料金は各ブロック前売り1000円、当日1200円★前売りはチケットぴあ◇川崎市など主催、当事業団など共催 2



## いまを話す

ゲスト

川崎市ホームヘルパー介護福祉士会  
会長 金山 郁子 さん

Vol.58

高年齢者の  
在宅介護「女には地獄」なら  
次の担い手はだれ?

「高年齢者が安心できるのは在宅介護」である反面、「在宅介護は女には地獄」との声がある。老人問題の社会的立ち遅れが悲痛な叫びとなる。介護保険法が来年にも施行され、川崎が「安心して年を取れるまち」になるのか。金山郁子さんはホームヘルパー歴十年。サービスを受ける側から「お手伝いさん」と呼ばれたことも。老人福祉の中核的担い手がヘルパーであることは、市の「市民総ホームヘルパー大作戦」のヘルパー一万三千人養成計画でも明らか。だが「福祉はボランティアで」の意識が、高年齢福祉の足枷になる危険性もなくはない。金山さんにヘルパーの現状や問題点、「川崎市在宅福祉公社」への期待を聞いた。インタビューは椎野和枝さん。

——高年齢介護の現場に携わっている金山さん、よろしくお願ひします。

金山さん ご質問にお答えできるか、どきどきしております（穏やかな表情で）。

——金山さんから、古い先の道しるべが得られると期待しております。「ステージ・アップ」の夏季号「いまを話す」のインタビューの際、高橋清市長が「川崎では、遠慮なく年を取っていただけます」と話されました。発行されますと、市民から大きな反響があ

りました。

金山さん それだけ市民の高年齢者問題への関心が高いということでしょうね。

——さて、川崎市が一昨年スタートさせました「市民総ヘルパー大作戦」についてやホームヘルパー活動の現状や展望について、お話ししていただきますが、まず「市民総ホームヘルパー大作戦」へのかわりについてお願いします。

金山さん この大作戦に私どもの「川崎市ホームヘルパー介護福祉士会」は、昨年から協力してまいりました。この大作戦の中で、ホームヘルパー三級養成講座「ホームヘルプサービスの共通理解」がありまして、私はその講師をしております。その講義で「ホームヘルプ事業とは、法律で定められたサービスであり、その中核的職種がホームヘルパーです」と話しています。

——金山さんは、いつから、どんなきっかけでホームヘルパーになられたのですか。

金山さん 昭和六十二年にホームヘルパー登録をしました。私のいとこが横浜で医師をしておりまして、昭和五十三年に「福祉を考

# 75歳以上が10万突破か 市のホームヘルパー大作戦 10万3千養成が柱

川崎の10年後

え実践する会」をつくり、私はその設立当時からかかわっていました。それで老人福祉については割合早い時期から考えていました。

——そのころ、ホームヘルパーに対するお年寄りやそのご家族の認識はいかがでしたか。

金山さん 正直に申し上げて、登録した当時は、ホームヘルパーと家政婦さんとの違いがほとんど認識されておりませんで、伺ったお宅で「お手伝いさん」と呼ばれましたし、そういう感覚でした。それで、疑問を持ちながらホームヘルパーの仕事をしていました。——そのころ、金山さんご自身



はホームヘルパーをどのように理解されていたのですか。

金山さん 当時は、ケースも少なかったのですが、ヘルパーを職業というよりボランティアとしてとらえていました。実際、講演を聴いてもボランティアの部分が大きく出されていきましたね。

——その後、ホームヘルパーについて社会の認識が変化したのでしょうか。

金山さん その二、三年後にホームヘルパーを「専門の職業」としてのとらえ方に変わってきましたね。高齢化が進み、ホームヘルパーへの切実な需要が増え、少しずつ理解は深まっていますが、まだ全体として整理ができていない気もいたします。

——現在、ホームヘルパーが報酬のある職業になっているのですか。

金山さん 現在は登録しても職業としてほとんど成り立っていま

せん。このホームヘルプ事業は川崎独自のものです、それぞれのホームヘルパーが、空いている時間を登録します。つまり、登録した曜日、時間に合わなければ、仕事・活動ができないわけです。

——職業として収入が保障されていないということですね。

金山さん はい。現在は職業として成り立ちませんが、今年から市民がホームヘルパーの派遣の申



椎野和枝さん

請をしますと、早期に派遣できるようにすることを目的にした「チーム運営方式」というシステムが導入されました。需要はかなり増えていますので、このシステムが機能すれば、職業として少しずつ改善されていくと思っています。

——需要が増えているとお話ですが、ホームヘルパーをどのく

## 金山 郁子 さん

かなやま・いくこは1934年、東京生まれ。産能短大卒。日本女子人間社会学部社会福祉学科履修生。87年、市社会福祉協議会事業部へホームヘルパー登録。94年、介護福祉士登録。96年、「川崎市ホームヘルパー介護福祉士会」の設立に尽力。会長に選ばれる。その前後に、市の「市民総ヘルパー大作戦」のヘルパー3級・ハートフル研修などの講師。現在、日本介護福祉学会会員、福祉を考え実践する「和風会」所属、民生・児童委員。自宅は麻生区百合丘。

らい養成する計画なのですか。

金山さん ホームヘルパー大作戦では、平成十二年までに一万三千人の三級（ハートフル）修了者を養成することになっています。でも、現在は研修を受けても登録されない方がいるようですね。

——高齢社会の進展に見合うホームヘルパーの確保が可能かどうか、国会での介護保険法の論議でも問題になっていますが。

金山さん 現在、川崎市内の高齢者（六十五歳以上）は十三万千人（総人口の一〇・九％）です。二〇〇〇年（平成十二年）になり



介護保険  
始まれば

# 高まるヘルパー需要

## 在宅福祉公社 新サービスの創出へ

ますと十五万六千人(同十二・一%)、二〇一〇年では二十三万九千人(同一七・四%)と推計されています。また、後期高齢者(七十五歳以上)の方が二〇〇〇年では



五万六千人ですが、二〇一〇年には十万人になるそうです。

この急ピッチな高齢社会にきちんと対応するためのホームヘルパー大作戦なのです。後期高齢者の多くは、何らかの障害があるようですが、本心に「安心して年を取れるまち」になるのか、ちよつと心配です。

金山さん 実際に介護保険が始まって要介護度の認定が進みます

と、ホームヘルパーを求めると、ホームヘルパーになるのか、はつきりませんが、ホームヘルパー不足の事態も十分考えられます。

私の友達が、ホームヘルパー三級の資格を取得し登録しましたが、三級では食事を作ったりの家事型で、入浴させられない「きまり」があるそうです。

金山さん 実際にホームヘルパーとして、入浴介護などの身体介護に携われるのは二級の研修修了者からです。入浴は、看護婦か家族が行うことが原則ですから、やむをえない場合を除いて、家族の補助の形で手伝う決まりになっています。でも、実際はどちらが補助なのか分からなくなることもありますけれど。登録していないホームヘルパー研修修了者が、自分の勉強や将来の家族のために備えるだけでなく、地域のボランティア活動に生かすなど、広く考えていただければ、と思います。



ここで「川崎市在宅福祉公社」についてお聞きします。どういう活動が始まるのでしょうか。

金山さん 私どもの会が在宅福祉公社の評議員の団体に推薦され、公社は七月一日に設立、川崎区砂子に事務所ができた段階です。具体的にどういう活動になるかはこれからです。

理事、評議員に福祉現場の方がどのくらいいるのですか。

金山さん 実際に活動している医師・看護婦・身障者・ホームヘルパー・ボランティア団体の代表が多数です。また、これからは市の認定を受ければ、ホームヘルプ事業の受託者になれます。在宅福祉公社の姿勢としては、われわれ現場の意見も取り入れながら、新しい介護の仕組みをつくっていくということだと思っています。

二十四時間巡回型ホームへ

ルプサービスを望んでいらつしやる方が多いと思います。

金山さん 幸区と宮前区で昨年からは各二十のモデルケースとして始まっています。これは川崎市ホームヘルパー介護福祉士会事業部のヘルパーではなく、業者に依頼しています。最初は苦勞がかなりあつたようです。ヘルパーが夜、訪問先の家の鍵を開け部屋に入りますので、訪問する方もされる方も戸惑いがあつたようです。実際に始まりますと、家族の方が安心して介護を任せられますので、だんだんに広がっていくと思います。

金山さんは、ヘルパーの活動をなさりながら、後に続く人たちの育成のため講師もされていきますが、今後の高齢者介護に必要と感じられることはありますか。

金山さん ホームヘルパーは、

### 椎野 和枝 さん

しいの・かずえ=1934年、京都市生まれ。同志社教育、毛利菊枝演劇研究所卒、NHK婦人学級世話人、広島女性史研究会を経て80年から川崎に住む「女性の学習情報をつなぐ会」、東洋大学特別研究会「21世紀の女性」、川崎「ぶらす1」に所属。共著は「山陽路の女たち」「テキスト現代女性読本」。麻生区白山在住。





基本的には医療行為ができません。最近、在宅医療ということがいわれています。病弱なお年寄りが安定期に入りますと、経管栄養などの機器をつけて帰宅されるケースが多くなりました。そういうお年寄りが苦しまれた場合、ただそばで見ているのかという問題に直面します。それで医師、看護婦、ヘルパーの連携がとても大切になります。三者がうまく連携をとり合っている地域もありますが、これをシステムとして確立してほしいと思います。

——実際のケースとして、うまく連携できた例がありますか。

金山さん 私は昨年、娘さんと二人暮らしをしていらした方のターミナル・ケア（人生の終末を安らかに過ごさせる医学）のお手伝いしました。娘さんは日中は仕事で留守でしたが、医師を核にして、結婚されている姉妹、保健所、在宅支援センター、訪問看護ステーション、それにヘルパーがかかわって最後を看取ったのです。チー

医師・看護婦・ヘルパー

## 連携システム確立を 配食地域広げ献立選択も

### 課題

ムワークがよかったと思います。

——確かに自宅で臨終を迎えたという方が増えていますね。これから三者の連携が着実に広がると思います。

金山さん 本当にそうです。ひとつひとつの積み重ねがあつて、それがあるとき、形になるのです。それには長い時間がかかりますが、そこにはしつかりとしたものが出来上がっています。

——次に「生活支援型食事サ-



「ビス」についてお聞かせください。金山さん これもテストケースとして、昨年からは幸、高津、麻生の三区で始まっています。また、

つと活動できるのに」という声は「ふれあい型」のボランティアからも出ています。

——炊事場不足が、配食サービスの広がりへの妨げになる懸念がありますね。

金山さん 麻生区では、長沢中を会場に月一回の会食会を実施しています。学校開放がこういうところで一役買うのはいいことだと思います。

——市民参加型福祉ということ、「福祉の担い手は地域住民」との意識が高まっています。しかし、ボランティアという言葉の解釈が、あいまいな気がするのです。「ボランティア活動は無償行為であるから安い」と言われてきました。ボランティア活動だけではホームヘルパー事業が成り立たないことを知らなすぎる気がします。

ボランテアが配食する「ふれあい型」食事サービスもありますが、週に一度とか月に一度というものです。麻生区の場合は生活クラブ生協の「あいあい」が指定され、週四日の「生活支援型食事サービス」をしています。お年寄りの多くは、このサービスが順次増えて、献立が選択できることを望んでいます。けれど、いちばんの問題は炊事をする場所が少ないことです。「炊事のできる場所があれば、も





——よく分かります。知識も労力も時間も惜しまずに行動するということは大変なことですからね。

金山さん これは金銭の問題というより、むしろ、自分の心の中の整理なんです。どんなに頑張っても、それを（訪問先が）正当に評価するとは限りません。そのとき、我慢できるかどうかを考えますと、お金をいただいで仕事をすれば、出来ない我慢もできるだろうと思いました。

——「ハートフルヘルパー」という地域ボランティア養成研修があります。ボランティアの名のもとに「女性の労働を国や市の福

祉サービスの手足として無償で使われるのではないか」との声もありませんが。

金山さん 家族介護の代わり手として、ボランティアが使われるのは、おかしいことだと思います。「老人の介護は女・嫁の務め」という考えが社会的に否定され「介護保険法」が出てきた感じもしませんとね。

——そこがあいまいですと、介護を受ける側も「ボランティアに施してもらっている」という意識になります。専門職であるホームヘルパーに介護を受けたときは意識が全く違うと思うのです。

金山さん その通りですね。高齢の方の中には、介護を受けることと、恥だと思っている方もいます。「してあげる」「すみません」の意識から、お互いの立場を尊重した「ありがとう」の関係になるべきでしょうね。介護という

## 不安ないか、ヘルパー確保 3ない労働の改善が急務

のは、サービスを提供する側も受ける側も「ありがとう」で成り立っていると思うんです。私どもがヘルパーとして十年続けてこれたのは、やはりその部分です。福祉の普遍化・社会化が進めば進むほど、ボランティアの意味をあいまいにはいけなないと思います。

——男性の意識についてはどう見ておいでですか。



金山さん その点については希望を持っておりません。市職員研修で介護教室をしましたところ、多くの男性職員が参加し、みなさん非常に熱心でした。地域にも、お力のある定年後の男性が増えていきますから、頼もしく思います。

——若い男性ヘルパーも増えていますが、天職としての条件整備ができていない気がします。

金山さん そうです。これからは、女性も男性も自立した生活を

していく必要があるわけで、その待遇については、もつともっと改善されていいと思います。ホームヘルパーは大変不安定な立場のパート労働です。昇給もなければ、ボーナスも退職金もありません。これでは、若い人が高い志を持ってヘルパーになっても、家庭を持ち家族を養うことが出来ません。現状の待遇では、若い方が一生の仕事にするのは困難です。

——日本には「福祉に携わる人の生活は貧しいのが当たり前」との甘えがあるようです。貴い仕事をする人たちを大切に作る気持ちと、待遇改善が強く望まれます。

金山さん そう言っていたら、私どもの励みになります。若い人が自発的意思で、誇りを持って介護の仕事長く続けられるためにも、ありがたいご意見です。

——お話を聴き、問題の多さに驚きました。しかし、方向性は間違っていないこと、地道な努力がなされていることが分かり救われた思いがいたします。

題字は高橋清・川崎市長

構成／富樫 恭子

文責／田中 園



はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ  
学び  
活動する  
生き生きと。



# 原作をベースに 楽しく「役作り」

し、高村光太郎の「牛」などを交互に朗読する「群読」、美しい日本の言葉の再生に取り組んだ。

賢治の「やまなし」では、会員が立って群読。作品をイメージした手作りの絵を中央に置き、ナレーター、カニの兄弟役、その父親役の順に並ぶ。ナレーターの声は、母親が子供に話し掛けるように穏やか。背筋を伸ばし、口を大きく

開け、高めの声で「クラムボンはかぶかぶ笑ったよ」とカニ兄弟は子供らしく早口でしゃべり、二人で興奮した顔付きで叫ぶ「コマも父親はゆつたりと話す。話の間が聞く人を物語へ引きつけ、その場の情景を彷彿させる。

指導の青木信雄・元産能大講師は「私はお客さん」と部屋の間で会員の演技を見つめ、物語が終わると「うん、声もはつきりしていて良かったですよ」と目を細める。

同会は、特別養護老人ホームなどで群読会を開いている。待ちの姿勢ではなく、会員自身がアンテナをはり、発表の機会をつくる。

「地域の人達に喜ばれることはうれしい。ナマの反響が上達につながる。どこへでも出前します」。

しかし、苦勞もあつたはず。朗

読は一人ですが、群読はチームワーク。群読するまでに、何度も原作を読み話し合いを重ね研究する。言葉の抑揚や間の取り方の練習を繰り返す。「練り合いは学ぶことが多く楽しい」と会員は口々に話す。この努力が、聞く人の心に日本語の美しさを印象づけるのだろう。

同会の発足は十年前の九月。同館成人学校の受講者が集まりスタートした。

荒井良祐さん(78)はかつては経理マン。文学は新鮮でももしろい」と意欲を燃やす。

下崎昌子さん(57)は「各会員の人生の足跡の違いから作品の解釈も異なり、飽きません」という。三田村政子さん(69)は「作品を自分なりに表現できるので楽しくなります」と笑顔。

嶋原代表は「メンバーが楽しく建設的な意見を交換し合い、信頼で結ばれた会です」と話す。

連絡は多摩区長尾五の一六の五  
☎(011)5869の同代表が  
高津区下作延一九〇四☎(011)9266の早河三子さん。

文 / 小誌・山本綾子  
カメラ / 小誌・井上徳子

自分の気持ちを相手に正しく伝えようと「話力研究会」嶋原幸雄代表(72)ら十一人は、金曜の午前(月一回)高津市民館で、詩や童話の朗読の練習に励む一方、地域のお年寄りに「群読会」を開き感謝されている。この日は、宮沢賢治の「やまなし」

## 日本語の美しさを群読で託す

話力研究会 (高津区)



はりきってます グループ紹介

伝承行事の聞き取りをたのむ

多摩文化財愛護ボランティア(多摩区)

日本の農耕文化から生まれた四季折々の伝承行事。自然の恵みに感謝して季節を感じ取る。そんなゆとりを大切にしたいと「多摩文化財愛護ボランティア」(荻野幸子代表、62)の十二人は、毎週金曜日、民俗学の学習や川崎の寺社・農家を回り聞き取り調査や日本民家園(多摩区枳形)の年中行事の展示へ協力と多彩な活動をしている。

この日は、日本民家園の古民家で盆棚を片付けてから十五夜の飾り付け。染め付けの皿に、お団子と秋の収穫物の柿を十五個ずつ盛る。十五夜にちなんだ個数だ。そして、さつまいも、里芋、栗もお皿に並べる。台の黒、皿の青、団子の白、柿の赤、芋の茶が美しく調和する。近くの野原で刈ったアスキヤ萩、おみなえしを添え、縁側に運びと思わず「風情があるわあ」と笑顔。聞き取りに基づいた作図がいきた。

「収穫の祝いと月の鑑賞は、地方によっては芋名月とも。農家ではお米で作った団子と芋は同格でした」(宮前区神木のあたりでは豆

腐も飾っていた」と情報交換に花が咲く。

また、十五夜には子供が近所の農家を回り、団子や芋をもらい、飾り物をくすねてもよかった。家人が、それに気付かないと縁起が良いとされていたそう。「収穫はみんなで分け合う。助け合って生活する仲間意識の強い農耕文化の特色ね」と大野敬子さん(49)。

自然と溶けあう生活文化を後世に



川崎北部の丘陵地は、昭和三十年ごろから開発が進み大きく変容し、村の伝承行事もほとんど見られなくなった。

同会は昭和五十一年、多摩市民館で、市教委主催の「多摩婦人ボランティア講座」の受講者で発足。学習と自主活動を結び付けている。「飾るものや方法は時代や地域によって違う。行事の主役は女。代々、おばあさんがお嫁さんや子供に伝えてきたので記録がなく、知る人がいるうちに一つでも多く聞き取っておきたい」と岡野和子さん(70)は人との触れ合いを大事にする。

「今まで何気なくしてきた伝承行事ですが、肌で感じてきたことを民俗遺産としてきちんと残したい。無くなると寂しいので」と甲田二三恵さん(62)は話す。

代表の荻野さんは「結婚と同時に川崎に移り住み、まちを知りたいと思ったのがきっかけ。これからは『みんなで一人前』の気持ちで学習します」といきいき話す。代表宅は多摩区中野島三の二の六。☎(911)2910。

文／小誌・井上徳子  
カメラ／小誌・菅原純子

仲間と楽しむ

学び

活動する

生き生きと



### 愛のメルヘン、緩む涙腺

「鉄道員」 浅田次郎著

(集英社、千五百七十五円)

第一一七回直木賞受賞作「鉄道員」は、廃止間近なローカル線の仕事一途な駅長が、死なせてしまった娘と再会する話や、エリート商社マンが左遷された日に、幼いころ別れたきり行方知れずの父の幻を見た話などの短編八編が収められています。

「オリオン座からの招待状」は、仲が冷えきっている別居中の夫婦が、故郷の小さな映画館の閉館興業の招待状を受け取り、ためらいながらも幸せそうな夫婦を装って出かけると

ころから始まります。ひっそりとひたむきに映画館を守り続けてきた老映写技師と、十五歳年上の妻との虚飾のない夫婦愛に触れ、二人の心が次第にほぐれていきます。

「うらぼんえ」は、夫の愛人の妊娠を契機に、子供のいない妻が夫の親族から離婚を迫られた時、亡き祖父が現れて妻を援護する話です。

家族の絆や夫婦の愛をテーマに書かれたこの短編集には、やさしい奇跡がちりばめられています。酸いも甘いも知っている大人のメルヘンといった趣で、涙腺がちよつと緩むかもしれません(純)。

### 戦時下の子供心いきいきと

「少年H」上・下巻 妹尾河童著

(講談社、各巻千四百五十六円)

一九三〇年生まれの主人公「少年H」は、妹尾肇著者本人。舞台は神戸の海の近く。洋服仕立屋の父、クリスチャンの母、二歳年下の妹の四人家族と町の住人の様子を通して戦前、戦中、戦後の情景が見えます。

小学四年の水泳の授業は、海軍式の「立ち泳ぎ」。長時間、手に物を持って泳げるように指導されます。この海軍式泳ぎを生かし、槍を持って海に潜り、蠣や蛸を取り空腹を満たす子供たち。校庭の銅像も「祝・二

宮金次郎君」と記された襷をかけられ、大砲の弾になるために出征。銅像のなくなった台座を見て、Hは子供心に「もう、遊んでいられない」と危機感を募らせます。

戦争が激しくなるにつれ社会は変わり、Hは「なんでや?」を頻発します。いつも誠実に答える父ちゃん近所のおじさん、学校の先生など聞き手がたくさんいます。

緊迫した戦時中の庶民の生活と心のどこかに、そんな余裕さえあったのでしょうか。文章は総ルビ付き。子供にも読めるお勤めの本です(徳)。

### 自己実現の道をやさしく

「癒しの生涯学習」西村美東土著

(学文社、千五百円+税)

「癒しの生涯学習」の著者は、学生からmitoちゃんと呼ばれています。本の前半は、学生が授業の出席証明の代わりに提出する「出席ペーパー」とそれへのmitoちゃんのコメント、やり取り。後半が、狛江市青年教室「狛江ブロータロー教室」で若者との実体験が中心。

「生涯学習」の定義を「教える人は学ぶ人、学ぶ人は教える人」と記しています。短く、わかりやすく、mito著の特徴。そのうえ、小

テーマごとにCMふうのポイントを付記。途中まで読んで、時間が経ってから次を読むとき、前述を思い出すのに役立ちます。また、さくいは、後から必要なところを熟読するのに便利。こう書くと「内容が薄いのでは」と思う方もいるでしょうが、学校教育、生涯学習の体験に基づいた記述で、心にぐざりとくる指摘が随所にあります。

いまの自分を変えたい人が「人と気持ち良くなかわり、さわやかな関係を保ちたい」と考えるときそのヒントが詰まった気軽に読むことができる本です(綾)。

### お勤め本

#### 興味抱かす身近な歴史

「たちばな地名探訪」前川清治著

(労働教育センター、千五百円)

「地名は、不思議な魅力と魔力を秘めている。人びとの生きた歴史が秘められている。地名は地形や風土の中から生まれた無名の集団創作」と著者は「たちばな地名探訪」の

「はじめに」でいいます。そのことと、川崎のルートツである武蔵国の橘樹郡へのこだわりが重なった熱い思いが読者を「地名ロマンの世界」へ誘うのでしょうか。

本書は、第一章「武蔵国の成り立ち」、第二章「みやまえ地名探訪」、

第三章「たかつ地名探訪」の約七十項で構成されています。たとえば、「潮見台」の項では「望遠領とよぶ小高い丘が西の端にあり、良く晴れた日には大地上から品川や大森あたりの沖を通る船が見えた」と記した後、縄文時代の景観や人々の暮らし、動植物とのかかわり、風習が二ページにも満たない中で、分かりやすく簡潔に述べられています。

邪道かも知れませんが、このように、身近な地名の項をはじめに読んで興味をそそられます。積んでも心配が無用の地名百科として続編が期待されます(園)。

「読者のみなさまへお願い」「お勤め本」コーナーを新設しました。ご投稿をお待ちしています。本のタイトル、著者名、出版社名、価格、あなたの

住所・氏名を記した後、十六字取り二十五行前後の読後感をお寄せ下さい。見出しは編集チームで付けます。なお、今号は小誌スタンプが書きました。



学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

「古文書講座」古文書が

ら見る川崎の歴史◆市公文書館 11月29日～12月13日の毎週土曜13時半から、全3回。講師は柳下顕紀・法政大史学会員。対象は初心者。教材費のみ千円。30人(抽選)。申し込みは11月7日(金)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、職業、☎を記し〒211中原区宮内4の1の1、同館・歴史講座係。☎(733) 3933。

「連続講演会」建築と日本文化◆日本民家園 ①11月2日(日)は桂離宮とその文化的背景。講師は斎藤英俊・東京芸大教授②11月16日(日)がイギリスの土地と都市住居。講師は鈴木博之・東京大教授。いずれも13時半から。各千円。各40人(抽選)。申し込みは①10月18日(土)②11月1日(土)までに往復はがきに住所、氏名、☎、

市外局番のないものは044

学習・文化情報

講座名、講座日を記し〒214多摩区枳形7の1の1、同園。☎(922) 2181。

「ボランティア入門講座

◆川崎授産学園 10月21日～11月25日の毎週火曜10時から、全6回。知的障害者施設で体験作業、点字、手話の学習。無料。30人。申し込みは10月20日(月)までに☎(954) 5011の同園。新百合ヶ丘駅からバス。

「暮らしの中で見る」在宅介護の探求◆市立看護短期大学 11月29日(土)12時45分から。同大学教員の講義。4つの小セミナー。無料。3百人。申し込みは10月15日(水)～11月14日(金)に往復はがきに住所、氏名、☎を記し〒211幸区小倉1541の1、同大学総務課公開講座担当。☎(587) 3501。

「簿記3級検定準備講座◆市労働会館」10月17日(金)～来年2月5日(木)の間の25回。18時15分。2月15日(日)の検定試験に備える。受講料2万2千円。35人(抽選)。申し込みは10月12日(日)11時に受講料を添え来館。☎(222) 4416。

「①超低金利時代の落とし穴」あなたの財産が狙われている②電話相談「悪質商法110番」◆県川崎消費生活センター ①は10月14日(火)9時45分から。講師は堺次男・悪徳商法被害者対策委員会会長。無料。先着80人。2歳以上の保育あり②10月16日(木)17日(金)9時半～16時同センター相談員が応ずる。申し込みは①のみ10月9日(休)まで☎(833) 1231内線331の同センター。

「ニューカップルセミナー◆麻生市民館」10月18日～11月15日の毎週土曜10時から、全5回。出産、家族の将来について学ぶ。対象は初めて親になる男女。無料。教材費は別。先着20組。申し込みは10月4日(土)10時から☎(951) 1300の同館。

「講習会◆市緑化センター」①11月12日(水)、小菊盆栽の作り方。無料②14日(金)カキの鉢作り。教材費2千円。いずれも13時半から。各30人(抽選)。申し込みは10月31日(金)までに往復はがき(1人1枚)に講習会名、住所、氏名、☎を記し〒214多摩区宿河原6の14の1、同センター。☎(911) 2177。

「私たちな・ふるさとセミナー◆プラザ橘」11月8日(土)29日(土)13時半から「郷土たちばなの自然を学ぶ」と題し柴田敏隆・日本自然保護協合理事が講演。無料。先着50人。申し込みは10月22日(水)10時から☎(788) 1531の同館。

「体験学習講座◆日本民家園」①10月19日(日)10時から、草木染め。千円。30人(抽選)②11月9日～23日の毎週日曜10時から、紙すき「和紙」作り。コウゾを原料にはがき、しおりを作る。2回以上参加できる人。2千円。20人(抽選)。申し込みは①10月9日(休)②31日(金)までに往復はがきに住所、氏名、☎、講座名、受講日を記し〒214多摩区枳形7の1の1、同園。☎(922) 2181。

「子ども体験教室」竹細工◆日本民家園 10月25日(土)10時から。おもちゃ、はし置きを作る。対象は小学生。無料。先着10人。申し込みは10月1日(水)から☎(922) 2181の同園。

「社会人学級◆中原市民館ほか」12月16日まで、来年1月9日～2月18日の毎週火・水・金曜18時15分から。中学1年程度の国語、数学、英語、社会、音楽を学ぶ。社会見学あり。対象

の同院。向ヶ丘遊園駅下車。

学習・文化情報

参加したい催しがある

は15歳以上の中卒者。無料。教材費別。申し込みは☎(722)7171の同館。

「パソコン講習会◆川崎新都心情報センター」①10月24日(金)、はじめての一太郎コース②11月4日(火)と12月3日(水)、はじめてのパソコンコース。Windows 95の基本操作など③11月18日(火)19日(水)▽12月17日(水)18日(木)、はじめてのパソコンゆっくりコース。1コース2日間で内容は②と同じ。いずれも9時半から。テキスト代込み①一万円②各9千円③各一万円7千円。機種はNEC PC 98ノート

「Lavie」Windows 95対応。各コース5人(抽選)。申し込みは講習日の1週間前までに☎(952)1511の同センター。新百合ヶ丘駅下車、新百合21ビル1階。

「市民健康セミナー」パキンソン病と類縁疾患◆市中小企業・婦人会館⑩月25日(土)14時から。川上正人・聖マリヤンナ医科大東横病院内科副部長が講演。写真は前回。無料。当日1

50人。問い合わせは☎(722)2121内線522の同院総務課(ミニニュース)に関連記事。

先着10人、16歳以上先着10人の計20人。材料費実費。④は10月26日(日)14時から、塚越孝・ニッポン放送アナウンサーの正しい言葉と正しい会話の講演。無料。百人。申し込みは☎(222)5282の同館。



「①エスニック料理教室」

②スポーツコーナー利用講習会③レッツお菓子作り④育成啓発講演会◆県立川崎青少年会館①は10月23日の毎週木曜19時から、全4回。対象は16〜35歳。材料費実費。先着20人②は10月18日(土)18時半から。器具の扱い方を説明。対象は16歳以上。保険料千三百円。先着15人③は10月19日(日)13時から。オーブンを使わない簡単なお菓子。小中学生

「催し」  
「日本民家園まつり①写真展 古民家の光と陰②民具作品展示会③園内古民家解説ツアー④お茶席の会⑤晴れ着・ふだん着・仕事着展◆日本民家園」①は10月1日(水)〜11月16日(日)、山田家と本館。小池汪カメラマンの7点②は10月5日(日)〜11月29日(土)、原家と太田家。わら・竹細工、はた織り作

品③は10月12日(日)11時半〜13時半、原家集合。英語で④は10月26日(日)10時から、佐々木家。一服三百円⑤は10月25日(土)〜11月16日(日)、岩澤家で所蔵品を④を除き無料。入園料必要。11月3日無料。問い合わせは☎(922)2181の同園。  
「健康フェア◆日進町老人福祉センター」10月30日(木)9時半〜15時半。午前は身体・体力測定。午後は高齢者のための介護教室、肩こり、腰痛予防体操。対象は60歳以上。無料。先着60人。申し込みは10月20日(火)までに直接か、往復はがきに住所、氏名、年齢、☎を記し〒210川崎区日進町5の1同センター。☎(211)3181内線221。  
JR川崎駅より送迎バス。  
「市民天体観望会◆川崎授産学園」11月8日(土)18時半から金・土星、星座を。雨天は映画。無料。小学生以下は要保護者。詳しくは☎(954)5011の同園。新百合ヶ丘駅からバス。  
「あさお区民まつり◆麻生区役所周辺」10月12日(日)

さらに使いこなすパソコン講座

受講者募集

- 日 時——11月18日(火)〜20日(木)10〜16時
- 会場——市教育文化会館学習室  
(JR川崎駅から徒歩15分、バスあり)
- 対象——市内在住・在勤・在学の方
- 受講料——12,000円
- 教材費——1,500円
- 定員——15人(抽選)
- 使用機種——NEC PC 9801 DX - U

★申し込みは、10月24日(金)〜31日(金)9〜17時に

☎233-6250の当事業団川崎分室へ電話で(月曜休み)



学習・文化情報

楽しいイベントがある

10時～16時。小雨決行、延期の時は19日(日)。パレードや消防音楽隊・カラーガード隊の演奏、模擬店、物産展、バザー。問い合わせは☎(953)3111内線211の同実行委事務局。

「キクの品種展◆市緑化センター」10月22日(水)～11月16日(日)9時半から。大菊や盆栽菊など130品種。問い合わせは☎(911)



「最先端技術の展示◆東芝科学館」物体が浮き、回る球体浮上デモや、生卵を落下させ割れずに受け止める制御技術タマゲッター、超小型水中ロボット「写真」コーナー新設。問い合わせは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。「フランス・ヌーヴェル・ヴァーグ時代の映画◆市

2177の同センター。  
「かわさき市美術展◆アートガーデンかわさき②教育文化会館」10月30日(木)～11月8日(土)10時～18時。4日(火)休館。入選、入賞作品を展示。無料。①は絵画、版画②は彫刻、立体造形、工芸、書、写真。問い合わせは☎(222)8821の市文化財団。

市民ミュージアム」10月18日(土)①317小隊②勝手にしやがれ。15時10分からラウル・クタール監督と渡辺浩の対談▽19日(日)①恐怖の逢びき②大通り▽25日(土)①小さな兵隊②ローラ▽26日(日)②5時から7時までのクレオ▽11月1日(土)①モラン神父▽写真②悪意の眼▽2日(日)①いぬ②キスノキスノキスノ▽3日(日)①カラビニエ②軽蔑。上映は①は13時半②は16時(10月18日のみ17時)料金は一般500円、小中生300円、スカラチケット4千円。対談無料。定員270人。問い合わせ☎(754)4500の同館。



「中原区地域教育会議住民委員募集」

「中原区地域教育会議住民委員募集」区民の生涯学習を進める。区内在住の20歳以上で区民10人の推薦を受けた15人。任期は2年。応募は10月15日(水)～11月30日(日)。詳しくは☎(722)7171の同準備会事務局。

「中原区文化祭◆中原市民館他」10月25日(土)～26日(日)は舞踊、詩吟、民謡▽24日(金)～26日(日)は生け花、書道、俳句の展示▽25日(土)26日(日)、お茶会▽25日(土)～11月15日(土)、とどろき緑地で菊花展。詳しくは☎(722)7171の同区文化協会事務局。

「①星を見る夕べ②星の撮影教室◆青少年科学館」①は10月4、11日の(土)17時

半(雨、曇りはプラネタリウム)無料。直接来館②は11月28日(金)19時(雨天中止)土星を。無料。定員先着14人。持参品あり。申し込みは10月24日(金)9時から☎(922)4731の同館。

「観察会◆①生田緑地②黒川」①は10月4日(土)10時、昆虫▽11日(土)13時半、植物▽19日(日)13時半、地層(雨天決行)。持参品あり。10分前に青少年科学館集合②は11月8日(土)10時～15時、昆虫。持参品あり。無料。定員20人。申し込みは10月8日(水)9時から☎(922)4731の同館。

「親子で参加①もちつき・絵手紙②スキー◆市青少年創作センターほか」①は12月14日(日)9時半～15時②は98年1月9日(金)から2泊3日、八ヶ岳少年自然の家。費用は両方参加で1万6千円。対象は市内在住・在学の小3～中2とその保護者の50人。申し込みは往復はがきに住所、☎、児童名、性別、校名、学年、保護者名を記し11月10日(月)までに〒39901富士見町境字広原12067の482。☎0266(66)2011の自然の家。詳しくは(911)1510の同センター。

「川崎みなと祭り◆川崎マリエンほか」10月18日(土)19日(日)10時～16時。川崎港内見学会、ミニ四駆、サッカー教室、バザールなど。問い合わせは☎(287)6009の同実行委。

「講座作品発表会◆中小企業・婦人会館」10月11日(土)10時～18時、12日(日)17時。受講生の作品展示や即売、尺八・民謡発表会。無料。問い合わせは☎(422)2525の同館。

ステージ

「アンサンブル・ソル・ビエント」アルゼンチン・タンゴの魅力◆市国際交流センター」11月9日(日)14時開演。「エル・チョクロ」「レクエルド」ほか。ギター小胎剛、フルート森岡麻智子。全自由席千500円。問い合わせは☎(588)1738の小胎さん。

「①コージコンサート②

学習・文化情報

みたい絵がある

紫村千恵子と四つ星の響き  
 ③小林ちからピアノの世界  
 パートⅢ◆「糝ホール」①は10月10日(祝)14時開演。2台のピアノ、マンドリンアンサンブル、バイオリン、サクソフォン4重奏。無料②は10月15日(水)13時半開演。アンゼルスチンタンゴ、ピアノ「忘却」ほか。演奏はロス・マエストロ・トリス・デル・タンゴ。全自由席で千800円③は11月1日(土)13時半開演。ベートーベン、ピアノソナタ「悲愴」第2楽章ほか。3千円。問い合わせは☎(812)6090の同ホール。会場は溝ノ口駅下車。

①農村歌舞伎公演②野外ミニコンサート③人形浄瑠璃公演④津軽三味線◆日本民家園①は10月4日(土)11時、旧船越の舞台で「狩場曾我富士の曙・対面の場」入谷歌舞伎会。▽13時半同「絵本太功記・十段目」大谷芸能保存会。雨天は5日(日)。②は10月11日(土)13時、旧佐々木家前庭。演奏はニューフロンティアオーケストラ。「レギンザレギン」

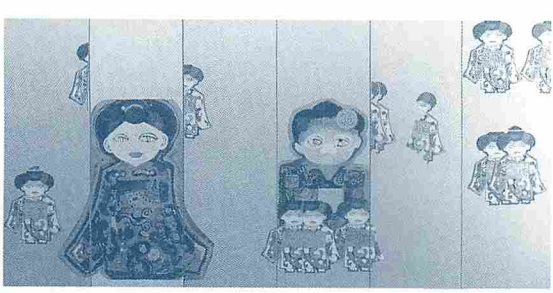
ほか。雨天は12日(日)。③10月12日(日)13時、旧工藤家で「傾城阿波の鳴門」下中座。④は10月26日(日)13時半、旧工藤家。演奏は小山貴貴。各無料(入園料必要)問い合わせは☎(922)2181の同園。

「川崎市民合唱団定期演奏会◆幸文化センター大ホール」10月26日(日)14時開演。團伊玖磨「筑後川」▽清水脩「そうらん節」などの民謡。指揮は小西乾太郎、伴奏は小侯純枝。全自由席500円。問い合わせは☎(522)6229の小西さん。

ギャラリー

「スナック喫茶琴」10月18日(土)まで、中根千枝の写真▽18日(土)11月1日(土)飯島義春の写真と俳句。☎(544)0507。鹿島田駅下車。

「市民ミュージアム」11月3日(祝)まで、没後50年岡本一平展。大正・昭和初期に斬新な手法を生み出した漫画家の全容と日本現代漫画の原点を初公開資料



や作品4百点▽11月30日(日)まで、無垢なる魂。三重県のアトリエで造形指導を受けたダウン症の子供らが自然が題材の版画、彫塑。一般300円、小・大学生100円。☎(754)4500。

「ギャラリー幸」10月3日

「中村正義の美術館」10月4日(土)11月3日(祝)、中村正義「舞妓」展。未発表の屏風||写真||など40点。一般500円、学生300円、小中学生200円▽10月4日(土)16時半から、麻生区在住



日(金)8日(水)、岩手県東和町の伝統「さき織り」展示▽10月10日(祝)15日(水)「個性」個展。80歳女性の初個展。▽10月17日(金)29日(水)、山の展。23日(木)は休廊☎(555)8181。川崎駅西口下車。

の劇作家、ふじたあさや講演会「嘘つぼさとの戦い」。一般千円(入館料別)。申し込みは☎(953)4936の同館。読売ランド前駅からバス。

「画廊ランプ屋」10月24日(金)11月1日(土)、上原美智子「あげずば織展」。沖縄でとんぼの羽根を意味する幻想的な絹織物||写真。☎

スポーツ

「エアロビクスマラソン◆幸スポーツセンター」10月18日(土)10時から。15歳以上。無料。先着120人。なお「体育の日」は大体育室ほか無料開放。問い合わせは☎(555)3011。

「体育の日 市民無料開放◆とどろきアリーナ」10月10日(祝)9時から。各種球技、トランポリン、エアロビクスなど。チャアリーディング、一輪車のデモンストラクションあり。「ビューティフルウォーキングのすすめ」健康体力相談は当日予約。問い合わせは☎(798)5000。

お願い 当欄へ情報をお寄せ下さい。掲載号の原稿締切りは前々月の末日です。

(945)4416。稲田堤駅下車。

「高津市民ギャラリー」10月11日(土)15日(水)「縫う・織る・染める三人展」。問い合わせは☎(814)1301の吉川さん。溝の口駅下車ノクティール2内。



学習・文化情報

魅力的なグループがある

会員募集



●無極天生健身会《高津区坂戸3の4の11、櫻井悠樹代表》太極拳で心からケアしませんか。毎週日曜10時半から、市とどろきアリーナで。初心者・経験者とも歓迎です。年会費5千円。一回6百円。連絡は☎(811) 5700の同代表。

●登戸混声合唱団《世田谷区喜多見4の29の9、根村道子代表》国内外の合唱曲を幅広く練習しています。指導は片野秀俊先生。活動は毎週火曜19時から多摩市民館ほか。入会金千円、月会費5千円。連絡は☎(955) 7977の森田宅。

ミニニュース



役に立つセミナーと好評の講演と相談

聖マリアンナ医科大学東横病院の医師や看護婦らスタッフが10月25日午後2時から、市中小企業・婦人会館(武蔵小杉駅)で、「市民健康セミナー」(無料)

を開く。テーマは「パーキンソン病と類縁疾患」。

このセミナーは毎回テーマを変え、病気の不安を抱える患者やその家族を少しでも勇気づけ、役立とうと年3回、土曜の午後、同会館で開き、毎回百人を超す市民が参加。医師が講演した後、個人相談コーナーを設け、テーマ以外の質問や薬、食生活などの相談に応じ、専門家の的確な助言が得られると好評。

このほど開かれた「婦人科腫瘍の診断と治療」症状がなくても検診を受けることが重要です」と題するセミナーでは、木口一成・産婦人科副部長が女性のがんの特性や治療法を説明。未婚や20代の女性の初期がんは無症状で進行も早く「遅くとも30歳になったら受診すべき」と話した(〇)。

型破りの楽しさ

川崎市民オペラ

「ちよつとオペラが見える夏」をテーマに川崎市民オペラ(佐藤征一郎代表)がこのほど、エポックなかはらで「ゴールデン・コンサート」を公演、満席の市民に見どころを披露した。

第2部は、美しい旋律で知られるドニゼッティの生誕2百年記念「ビバ・ラ・マンマー」。第1幕のハイライトを日本語で熱演。ピノクのドレスを着たステージ・ママ役の格幅のいいバス歌手が、肩を揺らしながら早足で舞台上に登場。川崎市民オペラの会員たちが歩き歌い、長野オリオンピッコ

や流行のキティちゃんも登場、東北なまりの表現、相撲の呼び出しの場面もあるコミカルな演出で観客を大いに楽しませた(〇)。

心が引き込まれる

瀬崎竜彦さんの書

「心画展」瀬崎竜彦・心のメッセージ」がこのほど、川崎駅前のアートガーデンかわさきであり「前夜祭」には東京芸大付属音楽高校でチエ口を学ぶ麻生区在住の丸山朋文さん(18)がバツハ「無伴奏チエ口組曲」など3曲を奏で、竜彦さんの書と共に演じた。写真・演奏は、丸山さんが竜彦さんが登場した「いまを話す」

を読み、その感性に心をうたれ「書の中で演奏したい」と希望し実現した。

今回の個展は、前展での34点に加え新作30点が展示された。心画展を鑑賞した市民は、「雨のバラード」と題する作品に感動した。「雨」がすべて異なり書というより絵画」「書に心が引き込まれる感じがした」と話していた(〇)。



足と手、頭で作った

植物観察「記録集」

かわさき市民アカデミーの「川崎学V」の会員が、このほど、野外学習の記録集「川崎の自然観察(春夏秋冬)植物の観察、写真集・編」植物の観察、写真集・

さし絵」をまとめた。

すべて手づくりで、カラスノエンドウ、ヤマユリなど79種の草花や樹木のスケッチ110点と写真90枚をA4判フアイル70ページに収め、植物のミニ解説もつけた。クレヨン画のスケッチは、花びらや葉、茎の形葉脈の特徴が繊細に再現。

講座「川崎学V」は、4月から3カ月間、麻生川周辺、野津田ふれあいの森(こもれびの小道)、おつ越し山(柿生)などの麻生区や町田市を13回も歩き、観察した先々で出あつた植物を記録してきた。

記録集は、会員40人のうち15人が中心となり作つたが、スケッチと写真はカラーコピー30部を作成。

アカデミー講師の斎藤博さんは、「会員の自発的意思で作つたもので、その出来栄えにびつくりしています。行つた所に生息する植物なので、これを持つて歩けば必ず役立ちます」と話す。

この記録集は☎(4222)30032の市民アカデミー事務局などに寄贈(〇)。



## 編集後記

二期が始まって約一カ月になるが、「日本の子供たちは、また、何かに追われているような生活に戻ったのかしら」と思う▼というのは、私の小学四年の娘の夏休みの自由研究「アメリカの小学校のようす」に付き合わせられ、それが多分に影響しているからである▼フロリダ州に移り住んだ友人に、同州の小学校の履修科目、時間割り、算数の学習内容、行事、休暇、給食などの実情について、ファックスで協力を求め、日本の学校と比較してみた▼フロリダでは、授業は月々金曜が午後二時に終わり土曜は毎週休みで、夏休みが十一週間もある▼ゆとりのある学園生活をうらやましく思った▼授業内容は四年の算数の割り算で比べると、フロリダでは三桁割る一桁の計算を習うのに対し、日本では四桁割る三桁まで習う▼また、小数や分数は、フロリダでは高学年からで、日本では三年から学ぶ▼州により学習内容は多少異なるが、小学校の授業目的は「基礎的なことをじっくり学ぶこと」にあるようだ▼日本の四年生が、一年間に学習する算数の内容を知らせると、その量の多さに驚き「覚えるだけでも大変。大きくなるまでに力尽きてしまいそ

う」と言われた▼算数に限らずどの教科も学習内容が多すぎて、子供たちは、大人たちが決めたノルマ(学習指導要領)の達成のため、矢継ぎ早に知識を注入される▼子供自身が納得いくまでとことん考える時間や、疑問を解き明かす時間的余裕などない▼親も、わが子に人並み以上のレベルを望み「がんばれ」と追い立てている▼宮前区在住の教育評論家、村田栄一さんから聞いた「種子の眠り」の話思い出した▼穀物の種は、収穫してすぐに蒔いてもいい実は結ばない▼種がきちんと発芽するために、しばらく休ませておくことを種子の眠りという▼いまの教育は「早く芽を出せ柿の種」と、小さいうちからいろいろなことを教え込む▼人類の種子である子供のころは深く眠る時がある▼発芽のために眠る時期をゆったりと保障してあげることが大事、と村田さん▼この夏の残忍な少年犯罪や、いじめの陰湿化のせい「心を育てる」「生きる力をはぐくむ」教育が言われている▼そのためには学校・家庭の過密スケジュールから子供を解放することだ▼今までの「早く芽を出せ柿の種」ではなく、「いつか芽を出す柿の種」と、子どもに内在する発芽エネルギーを信じる教育システムにすることが求められている、と思う(菅)。

●発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団  
電話 044(952)5000代

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二、新百合21ビル  
FAX 044(952)1350 編集人・田中 園

比べて納得、選んで満足の人気者。

- マイカー購入に **カーライフローン**
- **生き活きローン**
- **マイプラン**
- **教育ローン**



借りたいのは、何ですか?  
ろうきんの場合、よりよい相談相手であることも、サービスのひとつです。



# ROKIN LOAN

★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫<ろうきん>へどうぞ。

川崎支店 ☎ 044 (244) 8331

中原支店 ☎ 044 (733) 0161

川崎南支店 ☎ 044 (277) 8211

新百合丘支店 ☎ 044 (989) 1111

インターネットでも(ろうきん)の情報がご覧いただけます。  
アドレス <http://all.rokin.or.jp/>